

平成 26 年度焼津市防災会議

議 事 録

会議日 平成 27 年 3 月 17 日

平成 26 年度焼津市防災会議

議 事 録

- 1 日 時 平成 27 年 3 月 17 日 (火) 14 時から 14 時 46 分
- 2 場 所 焼津市消防防災センター 4 階 災害対策業務室
- 3 出 席 者 会長及び委員 32 名 計 33 名
- 会長 中野弘道 (市長)
- 委員 半田 充 (副市長)
- 委員 高木利夫 (副市長)
- 委員 水谷直樹 (国土交通省中部地方整備局 静岡河川事務所長)
- 委員 曾田尚寿 (静岡県中部危機管理局長)
- 委員 高橋治子 (静岡県中部健康福祉センター所長)
- 委員 大石勝己 (静岡県漁港管理事務所長)
- 委員 杉本則尚 (静岡県島田土木事務所長) 代理 井上勝之
- 委員 白井 満 (静岡県志太榛原農林事務所長) 代理 村上昌弘
- 委員 植田敏正 (静岡県焼津警察署長)
- 委員 相浦 司 (西日本電信電話株式会社静岡支店長) 代理 山邊幹雄
- 委員 大石英典 (中部電力株式会社藤枝営業所長)
- 委員 梅山和彦 (日本通運株式会社焼津支店長) 代理 牧野 功
- 委員 藪崎正義 (東海ガス株式会社代表取締役社長) 代理 小林利雄
- 委員 八木健次 (大井川土地改良区理事長) 代理 油井日出雄
- 委員 清水栄男 (焼津市自治会連合会長)
- 委員 岩本 操 (焼津市消防団長)
- 委員 八木とく江 (焼津市消防団女性消防隊分団長)
- 委員 堀尾恵三 (焼津市医師会会長) 代理 山口順司
- 委員 三輪 誠 (志太医師会会長) 代理 寺島弘明
- 委員 鳥居良貴 (志太榛原広域事務組合消防長) 代理 西尾正巳
- 委員 山梨隆夫 (教育長)
- 委員 菱田 明 (病院事業管理者)
- 委員 岩谷壽夫 (総務部長)
- 委員 杉本瑞穂 (未来創造部長)
- 委員 池田義之 (財政部長)
- 委員 相川敏江 (市民部長)
- 委員 河村義之 (健康福祉部長)

委員	福與直己	(環境部長)
委員	寺尾隆之	(都市基盤部長)
委員	秋山藤治	(危機管理部長)
委員	進藤友寛	(水産経済部長)
委員	北川雅己	(水道部長)

4 議題 焼津市地域防災計画の修正について

5 会議公開 可

6 傍聴者 なし

7 内容

(事務局)

本日は業務ご多忙中のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただ今より、「平成 26 年度焼津市防災会議」を開会させていただきます。

本日の出席者は、31 人であります。よって、焼津市防災会議運営要領第 2 条第 2 項に定める会議の定足数に達しておりますことを、ご報告申し上げます。

会議に入ります前に、本日の資料の確認をお願いいたします。最初にお手元に配布してあります議事次第、議員編成表、席次表、焼津市地域防災計画の修正概要、焼津市地域防災計画案（共通対策の巻から大火災対策の巻）、焼津市地域防災計画案（原子力災害対策の巻）、焼津市地域防災計画案新旧対照表（共通対策の巻から大火災対策の巻）、焼津市地域防災計画案（原子力災害対策の巻）、以上 8 つの資料でございます。不足がありましたら、お申し出ください。

それでは、次第に沿って会議を開催させていただきます。

次第の 2 番目でございます。会議の開会にあたりまして、焼津市防災会議の会長であります、中野焼津市長よりご挨拶申し上げます。

(会長)

みなさんこんにちは。

本日は防災会議という事で、各地区から、また各団体から多くの皆さんにご参集を賜りましたこと、誠にありがとうございます。大震災から早いもので 4 年でございます。平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源としますマグニチュード 9.0 という未曾有の災害に、日本がかかったわけですが、「ありがとう」の反対の言葉を私はよく言うのですけれど、「ありがとう」の反対の言葉は「当然、当たり前」ということで、当然、当たり前と思わない気持ちが感謝の気持ちを上げていくということで、ご挨拶の中に入れさせていただいているところでございますが、まさにこの大震災は、当たり前と思っていた故郷の風景や、当然と思っていた家族の命が亡くなった方が多いわけで、あらためて日本国中感謝の気持ち、当たり前、当然だと思わない気持ちが全国各地で生まれていると私は思っている所で

ございます。

この地震にともない、大津波もありまして、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県などの三陸海岸からまた関東地区の海岸沿岸集落で、壊滅的な被害が発生して戦後最大の津波災害になったのは、ご承知のとおりでございます。

また、東京電力の福島第一原子力発電所では、多量の放射性物質が漏れる大変深刻な事故が起きたところでございます。

まだまだ多数の周辺の住民の皆様が、避難生活を余儀なくされているところでございます。

この事故を教訓とした、国、県により、原子力防災体制の見直しをふまえ、地域防災計画原子力防災対策の巻を修正し、また、昨年8月20日に局地的な短時間大雨によりまして、広島県広島市で住宅地の背後の山が崩れ、同時多発的に大規模な土石流が発生し、避難勧告の遅れというものが課題になったところではございますが、当焼津市では、避難準備、避難勧告、避難指示は基準に従って出しておりますので、国の呼びかけ、空振りを恐れずという事ではなくて、しっかり基準のうえでそれを行っていますので、混乱なく、この18号、19号の時も間違えることなく現場の対応ができたという風に思っているところではございますが、改めて東益津の土砂災害警戒区域、また瀬戸川流域に対して、これからの対策をしっかりとしていかなければならないと、気を引き締めているところでございます。

これら等々の事をまた、これからのことを考えて今後、市の災害対策をしっかりと現場にあった見直しをしていくことになっております。委員の皆様方には忌憚のないご意見を賜りまして、またご提言をいただき、計画の成案を受けたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。私からは以上でございます。本日は忙しいところ、ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

次に、次第の3番目、委員の紹介でございます。お手元の委員名簿、および席次表をご覧ください。委員の皆様におかれましてはお手数はありますが、順次自己紹介をいただけますようお願いいたします。自己紹介の順番であります。席次表をご覧ください。まず、半田副市長、次に高木副市長をお願いいたします。続きまして、山梨教育長、国土交通省水谷所長様の順で席次表の順序どおりをお願いいたします。それでは半田副市長よりお願いいたします。

以下、各委員が自己紹介

(事務局)

委員の皆様ありがとうございます。

それでは、次第の4番議事に入ります。議事の進行は焼津市防災会議運営要領第2条第1項の規定により会長である市長に、お願いいたします。

(会長)

それでは運営要領に従いまして、議長を務めさせていただきます。着座にて進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それではさっそく議事に入らせていただきます。まず議題でございます。焼津市地域防災計画の修正について事務局の説明をお願いします。

【議題：焼津市地域防災計画の修正について】

（事務局）

＜修正の概要について、次の資料を用い説明＞

配布資料 焼津市地域防災計画の修正概要
焼津市地域防災計画（案）新旧対照表

（会長）

ありがとうございます。

事務局の説明が終わりました。ただ今ご説明したところのご意見、ご質疑等ございましたらお願いいたします。

なし

（会長）

国の制度等によります変更、修正になっているとは思いますが、よろしいですか。ご質問、ご意見が無いようですので、この焼津市地域防災計画の修正の案についてをお諮りさせてよろしいでしょうか。それでは、承認ということで委員の皆様よろしければ拍手をお願いいたします。

拍手

（会長）

ありがとうございます。修正は承認という事で、異議なしという事でございますので、焼津市地域防災計画の修正についてご承認ということにさせていただきます。

以上で本日の予定の議事については終了しましたので、これで議長を事務局の方にお任せします。議事の進行につきまして、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

（事務局）

中野市長ありがとうございました。

ただ今ご承認いただきました、焼津市地域防災計画の修正につきましては、県に報告させていただきます。

(事務局)

それでは、その他という事で連絡事項等のある委員の方はいらっしゃいますでしょうか。

なし

(事務局)

連絡事項もないようですので、以上でその他を終了させていただきます。

以上で、本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。委員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

以上で平成 26 年度焼津市防災会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。